

タイトル	四日市の「負」のイメージ払拭に、観光は貢献できるのか —ダークツーリズムの観点から公害地域を考える—		
所属	南山大学 張ゼミ	氏名	伊藤鮎美

### ダークツーリズムとは

- ・ **定義：人類の悲劇を巡る旅、「影」をみる観光**  
(例：原爆ドーム、足尾銅山、アウシュビッツ強制収容所など)
- ・ 1990年代からイギリスで提唱されはじめた概念
- ・ 日本で研究が行われ始めたのは約20年前から

### 研究の目的

- ・ 公害地域における普遍的な観光スタイルを見つける
- ・ 日本におけるダークツーリズムの可能性を見出す
- ・ 記憶の保存、共有(悲劇の継承)について考える
- ・ 工場夜景観光の有用性を考える

### 現在の問題点

#### 〈四日市について〉

- ・ 「四日市ぜんそく」公害の歴史=「負」のイメージ
- ・ 四日市の観光資源が不十分  
入込客数：三重県内28市町のうち13位(平成29年度)
- ・ 工場地帯での観光の難しさ(工場夜景観光の限界)

#### 〈日本の観光について〉

- ・ 日本にはまだダークツーリズムが根付いていない
- ・ これまで「影」の部分が無視され続けてきた



昭和30年代半ばのコンビナート



出典：第一観光,  
四日市公害と環境未来館

### 現在のダークツーリズムの取り組みと今後の展開

#### 〈現在〉

- ・ 四日市コンビナート夜景クルーズ  
(公害を生み出した工場地帯が観光資源に)  
⇒ コンビナート企業のOB・OGがガイドとして  
公害の歴史、コンビナートの役割について語る
- ・ 四日市公害と環境未来館  
⇒ 当時を知る語り部と  
市民ボランティアの解説員

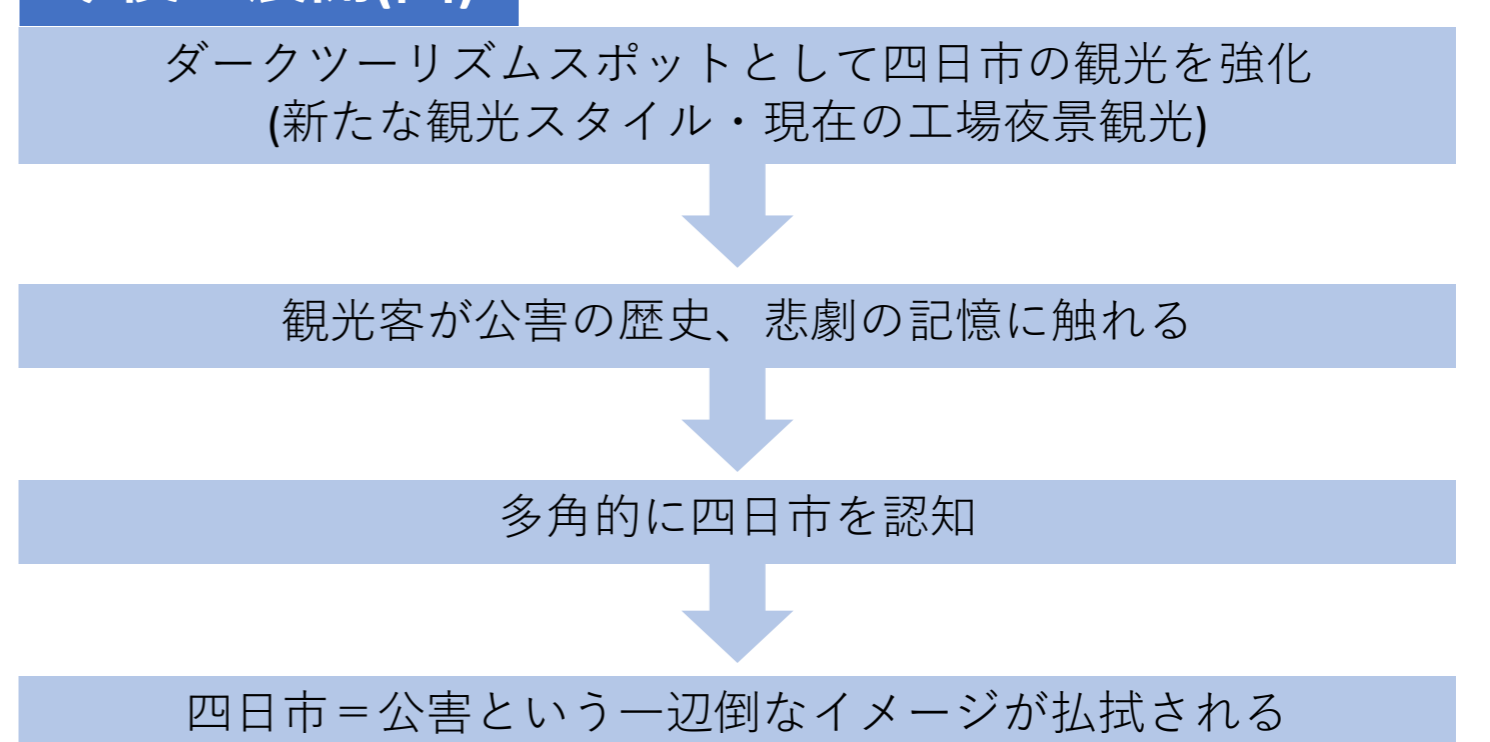
#### 〈今後〉

- ・ 「影」の側面に向き合い模索することで  
新たな観光スタイルが生み出せるのではないかと  
⇒ その新たな観光スタイルによって、  
これまでの「負」のイメージが払拭されるような結果に繋がらないか
- ・ ダークツーリズムの枠組みから、  
公害地域における工場夜景観光のさらなる発展が見込めないか

### 方法・手順

- ・ 論文、書籍から学ぶ  
ダークツーリズム  
四日市の歴史・観光・公害・産業  
ダークツーリズム・産業遺産観光
- ・ インタビューで調査  
四日市公害と環境未来館の語り部、解説員  
コンビナート企業OB・OG、家族・親戚など地元の人々
- ・ インターネットなどで調査  
工場夜景サミット・全国工場夜景都市協議会  
他の公害地域の取り組み

### 今後の展開(図)



#### 参考文献：

- ・ 井出明 (2018) 『ダークツーリズム—悲しみの記憶を巡る旅』 幻冬舎.
- ・ EICネット 一般財団法人環境イノベーション情報機構「四日市ぜんそく」, [https://www.eic.or.jp/ecoterm/?act=view&serial=2634].
- ・ 四日市公害と環境未来館『四日市公害のあらまし』.